



門田 裕一 議員

### 財政の「見える化」

#### 問

① 東京都の発生主義複式簿記の手法を取り入れた公会計システムに切りかえるべきでは。

② 財政をわかっていたためにの工夫、広報紙作成のお考えは。

#### 答 総務部長

① 東京都のシステムは、東京都が数年間の歳月をかけて独自に構築をしたものであり、日常の官庁会計の処理に連動し、日々の会計処理の段階から自動的に複式簿記、発生主義会計のデータを蓄積し、財務諸表を作成するものである。

当然、このようなシステムが導入できれば、リアルタイムで財政諸表の作成が可能となると思われる。しかしながら、現時点では、決算統計等の集計データを活用しての総務省方式改定モデルによる財務諸表作成で対応したいと考えている。

今後、ワーキングチームなどでできれば、ますます進んでいくのではないかとということで、前向きに検討したい。

② 広報紙の増ページや来年度更新予定のホームページなどを活用して、公表内容や手法について、検討を加え、わかりやすく公表ができるような形にしていきたい。

### 地域包括支援センターの充実を

#### 問

① 人員体制の見直しや広報活動の強化

② 合併後の中山地域での

取組の継承は。  
③ 中学校区に1カ所の設置を。

#### 答 市民福祉部長

① 地域包括支援センターは幅広い業務を扱っており、困難な問題への対応もある。専門職の増員を人事部局とも十分協議し、体制の強化に努めたい。

② 認知症事業等介護予防事業は、在宅介護支援センターを中心に活動している。月2回、愛媛大学の認知症専門医に特別養護老人ホームの入所者、認知症の方や家族の相談に乗っていただくとともに、薬の処方や検査等が必要な方には、市内の医療機関や愛媛大学とも連携していただいている。

介護予防事業は、中山老人憩の家を拠点として介護予防教室の開催や、「がんばる会」の自主事業による生きがいづくりに努めている。

③ 市内5カ所の在宅介護支援センターに相談窓口を設置している。既に地域住民との信頼関係や関係諸団体との連携も十分とれており、当面現状のような形で対応したい。



支援センターによる元気いきいき教室

### ホームページリニューアルの考え方

#### 問

① 市民への通知サービス  
② 高齢者、障害者への具体的な対応

③ 災害発生時への情報の発信は。

#### 答 総務部長

① 行政のイベント情報などを携帯メールで配信することは有効な手段であり、ホームページの更新とは別のシステムで検討を加えていきたい。

#### 答 まちづくり創造課長

② 自由に文字の大きさを変更できるような仕組み、文字の色と背景色にコントラストを持たせる。あるいは、利用者が迷わないような設定をする。

③ 災害発生時には、安全・安心メールの発信等に対応するとともに、地方行政無線等で対応する。

なお、ホームページについては、リアルタイムで発信できるような体制を整えていきたい。

### その他の質問事項

- ・ 我がまちの新年度予算
- ・ 市民後見人制度を
- ・ キウイの深刻な生育不良問題